

# 神田公民館たより

平成31年4月発行  
【第1号】

田村地区の情報満載!

わたしの田村



発行：平塚市立神田公民館 平塚市田村 3-12-5 電話 55-0239 FAX 51-1364

♪みんなでつくる音楽の集い♪

公民館利用音楽サークル・神田公民館共催

## たむらすFRINGGコンサート 2019

ジャズ

ハワイアン

合唱

申込不要、入退場自由。お気軽にご来場ください。

- 開催日 5月11日(土) 12時45分開場 13時開演 15時終演予定
- 会場 神田公民館 集会室
- 出演団体 JAZZ セッションクラブ【ジャズバンド】／ベサメムーチョ、私のすべて 他  
コール・ララ【合唱サークル】／春の小川、朧月夜 他  
アロハレイスターズ【ハワイアンバンド】／思い出の渚、小さな竹の橋の下で 他  
たむら福祉村歌声広場【合唱サークル】／銀座の恋の物語、いつでも夢を 他  
※曲目は、変更になる場合があります。
- その他 詳細は、神田公民館に置いてあるチラシ(プログラム)をご覧ください。



文学・歴史  
講座

## 新緑の鎌倉を訪ねる

～中世鎌倉の面影を色濃く残した朝比奈切通し～

- 開催日 5月18日(土) ※小雨決行、荒天延期(翌19日(日))
- 集合・解散 9時00分 JR平塚駅北口改札前集合、16時30分 同解散
- 行程 平塚駅＝鎌倉駅⇒杉本寺→報国寺→浄妙寺→明王院→光触寺→十二所神社→泉橋  
→朝比奈切通し石碑→磨崖仏→朝比奈バス停⇒鎌倉駅＝平塚駅(→は徒歩、⇒はバス移動)
- 講師 平井 晃 氏(前神田公民館長) ■定員 15名(先着順、家族での参加大歓迎)
- 参加費 700円(資料代、拝観料) ※別途交通費要1,260円(電車、バス代)
- 持ち物 弁当、飲料、タオル、雨具、散策に適した服装・靴、帽子など
- 申込み 神田公民館へ電話で申込み後、開催日前日までに公民館窓口で参加費をお支払ください。

徒歩 1時間40分程度



## パラリンピック正式種目 ボッチャ体験教室

ボッチャは、障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目になっています。ルールが非常にわかりやすく、障がいの有無にかかわらず誰でも楽しめるスポーツです。どなたでも参加できますので、是非この機会に体験してみてください。

- 日時 5月21日(火) 10時～11時30分
- 内容 ボッチャのルール解説と実践
- 定員 30名(先着) ※参加無料
- 持ち物 体育館履き、運動のできる服装
- 申込み 5月17日(金)までに神田公民館へ直接または電話でお申し込みください
- 場所 神田公民館 体育館
- 講師 平塚市スポーツ推進委員



ボッチャのルールは、チームでそれぞれ赤球6個、青球6個を投球し、いかに目標へ近づけられるかを競うゲームです。



# ホウ酸だんご作り教室



暖かくなってくるとゴキブリがチョロチョロし始めます。効果抜群の手作りホウ酸だんごで、おうちのゴキブリを駆除してみましょう。お気軽にご参加ください。

- 日 時 5月9日(木) 10時~11時30分
- 場 所 神田公民館 調理室
- 内 容 ホウ酸だんごの作り方の講習
- 講 師 川田 恵美子さん
- 教材費 300円 ■定 員 20人(先着順)
- 持ち物 エプロン、ビニール袋(持ち帰り用)、ビニール手袋
- 申込み 4月19日(金)までに教材費を添えて神田公民館へ直接お申込みください

**メモ**  
 ホウ酸は、昆虫に対して毒性があり、ゴキブリが食べるとジワジワと消化器官が破壊され、死に至るとされています。

## ガイドと巡る平塚の文化資源 第1回 「繁栄の湊 須賀」コース

主催 ひらつか文化財ガイドボランティア協会(協力 平塚市教育委員会)

【日 時】平成31年4月28日(日) 9:30~12:30 ※雨天決行(荒天中止)

【集 合】9:30: 平塚駅南口「人魚の像」前(南口バスロータリー) 歩行距離 約4km

【コース】人魚の像~三嶋神社~北向観音~台町稲荷~乗蓮寺~長楽寺~札の辻跡~海宝寺~稲荷山神社~阿弥陀如来石像~須賀の灯台跡~港稲荷神社(解散)~「須賀港」バス停

【参加費(保険料など)】300円(中学生以下無料・当日納入)

【申込み】はがき、FAX又はメールにコース名・参加人数・全員の住所と氏名を記入し下記まではがき:〒254-8686 平塚市役所 社会教育課 (この送付先で届きます)

FAX: 34-5522 メール: k-shakai@city.hiratsuka.kanagawa.jp

【締切り】4月21日(日)(当日消印有効) ※問合せ先 社会教育課 電話 35-8124 (平日 8:30-17:00)

### 【田村周辺の地を訪ねる13】真芳禅寺

真芳禅寺は、真芳寺のバス停から新幹線のガードをくぐった西側にある。『相模国風土記稿』によれば、真芳寺「大上山と号す、曹洞宗、津久井縣根小屋村功雲寺末、開山仁忠、天文二年三月廿日卒、小田原北条の支族と云、天文十七年二月、北条氏より採事を許さる。」とある。仁忠は北条氏綱の同胞であったと云う。また、「文政十二年火災に罹りて未再建ならず、寺領十石の御朱印は、天正十九年十一月賜へり、北条氏文書三通を寺宝とす。」と記されている。神田地域では田村の妙楽寺も文禄三年に寺領十石の御朱印を受けている。『大神村誌』によれば東西21間(約38m)、南北23間9分(約52m)、面積570坪の境内を有する大きな寺院であった。真芳寺境内は真芳寺砦の中核として機能する構造であり、北西に内堀の遺構、北東から南西にかけて土塁の遺構がみられるところから中世の城郭と考えられている。徳川家康をかくまって門を固く閉じ敵を入れなかった。助けられた札に杖の先で示した田畑二町七反七畝十九歩(275.33アール)が与えられたと云う「権現様(徳川家康)の杖先御朱印地」と不開門の伝説も残っている。不開門は関東大震災で倒壊し、門の扉の一部が本堂内に残されている。

(神田郷土史研究会 平井 晃)



真芳禅寺



御朱印箱



砦跡の碑



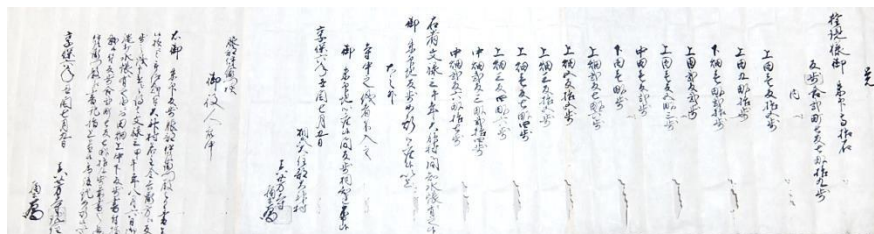
朱印状写し



相中留恩記略



内堀の遺構



御朱印地明細